

慈悲光

Echo No.172
 令和6年 春彼岸号
 羽村臨濟会 * 一 峰 院 寺
 * * * 禅 福 林 寺
 * * * 宗 禅 寺

災害に蔓延る嘘情報

はびこ

令和六年元日、石川県能登半島で最大震度七を観測する大地震が発生しました。

元日ということもあり、親族が帰省し家族皆で新年を迎えた日の出来事です。

被災された方達の中には、子どもやお孫さんを亡くされた方も多くいらっしやいました。テレビのニュースの中で、地震

で妻と子どもを亡くした男性が「元日は卑怯ですよ」と答えており、その映像が

今でも脳裏に焼き付いています。

この元日に起こった地震の惨状を目の当たりにし、改めて自然災害は容赦なく、

無慈悲に起こるものだと痛感致しました。

被災された皆さまにおかれましては、

この場をお借りし心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興

を心よりお祈り申しあげます。

今回の大地震において私が気になったことは、SNSを使用した「嘘の救助要

請・偽情報」です。被災地にいないのに

も関わらず、「生き埋めになっています。助けて下さい」と発信し、その発信を真

に受けた人が善意で警察や消防署へ連絡してしまったり、過去の災害の映像を使

い、今まさに津波が押し寄せているかのような恐怖を煽る偽の情報を流したりと、

このような投稿が多数あったそうです。

熊本の震災時にも、動物園のライオンが脱走したという嘘の情報を流し、そのことが問題となって大きくニュースに取り上げられていました。

SNSは、誰でも利用し発信できてしまうため、利用者自身が発信されている情報が正確では無いことを肝に銘じてお

かなくてはなりません。また、あやふやな情報を拡散させないことも重要です。これからも災害は続きます。SNSの匿名性が無くなる限り、これまでのような悪意のある嘘の情報によって、さらに混乱に陥れようとしてくる可能性があるでしょう。

現代の情報過多の時代、私たちには「正しくものを見る目」が今まで以上に必要となってきています。それは自分だけではなく、家族やその他大勢を守ることに繋がっていくのです。

(禅福 尚玄)